

ちい ともしび 小さな灯

■ 楽曲データ

歌詞：伊藤孝文 作詞

楽曲：大岩篤郎 作曲

発表：浄土真宗本願寺派仏教音楽研究所 1975年

初演：—

初出：『小さな灯』 浄土真宗本願寺派仏教音楽研究所 1975年

管理番号：M0244

■ 創作の経緯

仏教音楽研究所が1974（昭和49）年度に行った作品公募において、「私達のうた」として発表された5作のひとつ。

■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第6巻収録

底資料：『小さな灯』 浄土真宗本願寺派仏教音楽研究所 1975年

比較資料：—

校訂の詳細：特になし

■ 解説

仏教讃歌は、人生讃歌でもある——この曲を歌われた方は、きっとそのように感じられることでしょう。この《小さな灯》は、他の仏教讃歌と少し違い、良い意味で非常に「人間臭い」作品です。歌そのものの持つ若々しいエネルギーが、前向きに生きるようにと、私たちの背中を押してくれます。歌うことは喜びであり、皆で分かち合うものだという事をあらためて感じさせる、私たちの応援歌ともいうべき一曲です。

◆ 作詞者・作曲者について

作詞の伊藤孝文（1922～2010）は、当時、和歌山教区和歌山組瑞林寺の住職を務めていました。作曲の大岩篤郎（1948～）は、埼玉県在住の音楽家・合唱指揮者です。

◆ 歌詞について

この作品の歌詞を味わうとき、「文字通り」ということが最も大切であるように思います。これは詞というより、私たちに宛てた励ましのメッセージなのではないでしょうか。

ここで綴られる言葉は、ともすれば陳腐に聞こえるかもしれませんが。どれも、異論を挟む余地がないほどに、当たり前のことだからです。そして、多くの人が、そうであればよいのにと思いつつ、なかなかその境地にたどり着けない、と感じていることでもあるでしょう。これは、私たちの社会が、他人との連帯を避ける方に向きがちなこと、人生に対するおおらかな肯定感を持ちにくくなっていることと無関係ではないように思われます。

歌は説きます。人とふれあい、愛をはぐくむこの「手のひら」にいのちの灯がある、と。その小さな光がどれほどのぬくもりをもたらすのかを、私たちは今こそ、真剣に考えなければならないのかもしれませんが。

◆曲について

皆で肩を組んで歌いたいような、フォークソング風の魅力的なメロディーがつけられています。歌詞の影響もあるのですが、これほど体温を直に感じさせる仏教讃歌は少ないのではないのでしょうか。

音楽のつくりは簡潔で、自然な感情表現ができるように書かれています。心のなかの素朴でナイーブな感情を、素直に音に乗せて歌える曲だといえるでしょう。

◆演奏のヒント

誰かに、自分の熱い思いを伝えたいという気持ちで歌ってください。少し気恥ずかしいような言葉もありますが、本当にそう願う心があってはじめて生き生きと響く歌ですので、堂々と晴れやかに表現してみましょう。

①前半は、2小節を小さなまとまり、4小節を大きなまとまりとして組み立てます。

②冒頭の歌詞は、各番とも語りかけるように始めます。出だしのアウフタクト（メロディーが小節の1拍目ではなく、前の小節の途中から始まること）は、子音の発音を確かに、かつ2分音符へ流れ込むような気持ちで。

③5小節目の「ミ」は、ファに軽くひっかける感じで音程を取りましょう。

④7小節目の3・4拍目で音域が上がる時は、自然にふわっとクレッシェンド（次第に強く）し、8小節目で下がる時にはディミヌエンド（次第に弱く）します。

⑤8小節目4拍目から新しいフレーズです。出だしが遅れないように。

⑥11小節目はソの音が4つ続いたり、1番では1音にひとつずつ音節があてられており、ごつごつ歌ってしまいがちです。一息で、なめらかに歌いきりましょう。

⑦後半（14小節目～）は、さらによい声で朗々と歌います。この部分も同じ高さの音が続きますので、気をつけてください。また、シンコペーションのリズムを強調すると、澁刺とした表情がでます。

⑨16小節目の終わりから17小節目にかけては、「ファ」→「レ」と音が跳躍しますが、音程の幅を気にしない歌い方ができると良いと思います。高い音で伸ばす「い」の発音は、口を横に広げすぎず、力を抜き気味にするほうが音楽的です。

◆楽譜について

二部合唱版が、『讃歌集 二部合唱』第4巻に掲載されています。

音源は、CD『響流十方』に収録されています。

解説執筆：石川紀久子（本願寺仏教音楽・儀礼研究所 [現・浄土真宗本願寺派総合研究所仏教音楽・儀礼研究室] 委託研究員）

※本解説は、「メロディーの宝石箱」No. 85（仏教婦人会総連盟機関誌『めぐみ』第212号収録）を加筆・修正のうえ、転載。

Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.